

研究課題名 経カテーテル大動脈弁置換術症例における、術前心不全合併による術後経過および身体機能への影響の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年4月1日～2017年12月31日に当院の心臓外科で経カテーテル大動脈弁留置術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

重症の大動脈弁狭窄症例は心不全を発症すると2年以内に約半数が死亡するといわれており、心不全を発症した場合はデコンディショニングが生じていると考えられる。しかし術前の心不全発症の有無と経カテーテル大動脈弁埋め込み術後の経過や身体機能への影響は検討されていないため、本研究で検討を行う。

対象は2016年4月1日から2017年12月31日までに当院心臓外科で経カテーテル大動脈弁留置術が施行された30例(見込み)とする。術前心不全合併の有無で2群に分け、術後経過や術後身体機能を比較する。各指標はカルテから後方視的に収集する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、心不全の既往歴の有無、心臓エコー情報（EF、LADなど）、術前の血液生化学指標（BNP、Alb、Hbなど）、術後の在院日数、握力、歩行速度など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話：052-741-2687

担当：リハビリテーション部 高木 大地

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小林聖典